

## 平成 30 年度 第 1 回天王台南地区定例地域会議 記録

1. **開催日時** : 平成 30 年 7 月 29 日 (日) 13 時 30 分 ~ 16 時 00 分
2. **場 所** : 近隣センターこもれび 多目的ホール
3. **参加者** : 自治会 17 団体 25 名、我孫子市 2 名、推進委員会 12 名、計 39 名  
自治会 笹山町会 : 会長・副会長、我孫子市天王台自治会 : 会長、あびこ天王台ハイツ自治会 : 会長・理事長、パークハイツ我孫子台自治会 : 副会長・渉外担当、天王台十三自治会 : 会長、東高野山自治会 : 会長・運営委員 2 名、岡発戸自治会 : 会長、東我孫子区自治会 : 会長、大久保町会 : 会長・副会長、大久保台自治会 : 会長・副会長、滝前自治会 : 副会長、アベニュー高野山自治会 : 会長・副会長、小暮町内会 : 会長、高野山自治会 : 会長・副会長、早稲田地区自治会 : 会長、藤和天王台ハイタウン自治会 : 会長、ヒルズ我孫子ガーデニア自治会 : 広報担当  
我孫子市 市民活動支援課 : 課長・主任主事  
推進委員会 委員長・副委員長・事務局長・座長 3 名・委員 6 名

### 4. 概 要

#### (1) 開会・司会 (副委員長)

自己紹介

地域会議は、まち協と地区社協、市民活動支援課が一緒に行なっています。

自治会の皆さんから色々のご意見を頂戴して、より良いまちづくりのために一緒に推進していけますよう、よろしくお願い致します。

#### (2) 推進委員長あいさつ

本日は平成 30 年度第 1 回地域会議です。

天王台南地区地域会議は、平成 27 年にスタート、現在は、防災・防犯、子ども、地域活性化の 3 つのテーマで活動中です。

今年度は、3 分科会の共通テーマとして「あいさつ運動」を展開していきます。「あいさつ運動」を天王台南地区の各家庭、ご近所から全域に反映していくためには、自治会の協力が必要です。各自治会においてもあいさつの重要性を各家庭に反映していただく様、検討をお願いします。

最後に、まちづくり協議会の活動内容も是非ご理解いただき、まち協委員として参加いただきたいと思います。

#### (3) 市民活動支援課あいさつ (課長)

地域会議は、難しくありません。

我孫子市が地域会議に取り組むようになった理由は2つあります。

1つは、地域コミュニティが希薄化したこと。以前は、地域の課題を地域内で解決したり、問題が起こりにくかったが、現在の地域コミュニティが希薄になった状態では、犯罪が起こりやすく、孤独死や子どもの安全など、問題が出てきています。それらを重く見た市が、地域コミュニティの再活性化という考えを持ちました。

もう1つは市の財政状況です。日本全体で少子高齢化が進展、働き手が少なくなる状況の中で、我孫子市は大きな工業団地なども無く、税金における市民税の割合が非常に高く、市ができることがどんどんコンパクト化しています。市民と市が協力して、問題に対処していく必要性を重要視しています。

このような背景から、市は地域会議を提唱し、平成26年度には久寺家地域、27年度には天王台南地区で始まりました。自治会の役員になって、自治会内の問題に気づかれたと思います。例えば、高齢者の1人暮らし、老々世帯、母子家庭、障害を持った方など。地域の課題は、市の施策が行なうより地域で取り組んだ方が効率よく対処できることがあります。

「あいさつ運動」は、実行すると地域の人と顔見知りになります。実施している並木地区では、市内でも犯罪率が低いというデータがあります。市が犯罪率を下げようとしてもなかなか出来ません。

市役所は、市民ファーストですが、全体の奉仕者という立場があるので、特定の地域を特別視出来ません。地域住民が地域課題について話し合い、情報共有し、解決することはできると思います。それに関して今後市が協力することは惜しまずやっていきたいと思っています。天王台南地区地域会議では、平成27年度から、防災・防犯、高齢者、子ども、環境保全など課題を出し、解決に向け協議をしてきました。実際にカラス被害防止サークルや天王台駅南口の花壇整備などは地域会議成果です。市も非常に力強く思っています。今後も地域の課題について話し合いをしたいと思います。市はその結果を重要視していますので、本日も忌憚のないご意見をお願いします。

(主任主事) 私自身、天王台南地区に住んでいるので、この地区の課題は身近に感じています。色々なご意見やご相談をいただければと思いますので、よろしくお願い致します。

#### **(4) 出席者紹介 (司会)**

各自治会 ～ 推進委員 自己紹介

#### **(5) 議 題**

##### **1) 地域会議について (事務局長) ～ 資料に基づき説明 ～**

## 2) 分科会の報告・活動について

①防災・防犯分科会（座長） ～ 資料に基づき説明 ～

②子ども分科会（座長） ～ 資料に基づき説明 ～

③地域活性化分科会（座長） ～ 資料に基づき説明 ～

○司会の指名により意見発表

大久保町会 以前は、ネットの周りを抑えているレンガが重く、高齢者にとってごみ出しが大変だったが、カラス被害防止サークルを導入後は楽になったと評判がよい。

東我孫子区自治会 サークルは早くから導入、前会長が熱心だったので、現在は補修するくらい。

大久保台自治会 サークル利用で、カラスが来なくなったという評判を聞いている。

笹山町会 4期続けて資源担当になった熱心な方がいて、11カ所のごみステーションを調査してくれた。こもれび方式を参考に、独自の方法を導入し効果がでている。カラス被害防止だけでなく、資源回収の袋をぶら下げる工夫もしている。自分の方式も我孫子市に広げたい、我孫子独自のものを作りたいと言っている。

東高野山自治会 防災出前講座を、役員他約20名で実施。比較的地震に強い地盤なので、日常的に防災について考えるのは難しいが、講座を利用して、就寝中の災害の対応など、命を守る方法を再確認した。

早稲田地区自治会 サークルを活用、設置が楽で片付けもしやすいのが良い。今後の課題としては、ネットの重さ、風で飛びやすいので対策が必要。

高野山自治会 ほとんどが住宅業者設置のごみステーションだが、路上のステーションではサークルを利用。要は利用者がごみの捨て方のルールを守り、散らかったら掃除をすること。使い方の統一する意識改革が必要。

岡発戸自治会 古くからの住民と新住民に生活レベルの違いがあり、お互いの交流が課題。ごみステーションは、利用者で管理するのが原則で自治会は関与しない。あいさつ運動も旧住民同士は普通に行うが、新住民とどう取り組むかが課題になると思う。

～ 休 憩 ～

## 3) 平成30年度の活動テーマについて

①あいさつ運動の推進（事務局長） ～ 資料に基づき説明 ～

②質疑・意見交換 ～ 着席順に意見発表 ～

藤和天王台ハイタウン自治会 あいさつ運動を5年間継続中、ここ1年ほどあいさつをする人が増えてきた。継続的な活動にするとよい。不審者対策としても有効。ポスターだけでなく説明もつけて全戸に配布したい。理解を得るためのツールも考えてほしい。

笹山町会 故郷では学校の教育もあって、あいさつを励行、「オアシス通り」がある。隣近所と知り合いになってあいさつするのは、安全・防犯に効果がある。盆踊りや芋煮会など、住民が出会う場づくりをしている。

我孫子市天王台自治会 あいさつ運動はよいこと、是非進めたい。

質問) 推進委員は、役員から選ぶのか、住民の中から選ぶのか？

返答) 自治会役員会に報告する役目があるので、基本的には役員から選んでほしい。

意欲的に継続して取り組んでいただける人をお願いしてほしい。(事務局長)

あびこ天王台ハイツ 自治会 よいことだと思う。

パークハイツ我孫子台自治会 趣旨に賛成。山歩きではあいさつは当たり前のこと、自然にあいさつをかわしている。自分からあいさつするのは少し難しいが、一言でもできると気持ちが良い。

キャンペーンは、短期間で。まず地域でどう取り組んでいくかを住民に認知してもらえるように、それができてから継続を考えて。

天王台十三自治会 大人どうしはよくあいさつをするが、大人と子どもはどうか？自治会内でのあいさつはよくするが、自治会が違っていると難しい。アビスタまでの道では、我孫子中学校の生徒があいさつしてくれる。

東高野山自治会 自治会としてあいさつ運動の取り組みはまだない。日常のあいさつは防災の一步、家庭・学校・地域で、どうしたらインパクトのある活動になるか。

個人的には家庭内のあいさつから始めたい、それを隣近所、地域へと広げていけたら。ごみステーションでの取り組みに期待。

岡発戸自治会 旧住民と新住民が混在しているため、当たり前のことができない。旧住民どうしはあいさつしているが、新住民に周知するにはどうしたらよいか悩み。悪いことではないのですすめていけたらと思う。

東我孫子区自治会 教員時代の学校で取り組んだ経験から、生徒とのコミュニケーションは比較的簡単にできるが、駅やマルエツ、こもれびで実施するのは難しいのでは。

大久保町会 高野山小では、学内のあいさつ運動を行っている。庭の中から声を掛けるようにしている。知らない人とのあいさつは必要か？子ども110番の家に協力してもらってはどうか。

大久保台自治会 手賀沼を散歩中、あいさつをしている。とても気持ちよく、いいことだと思う。

滝前自治会 あいさつはコミュニケーションの基本。高齢化、一人暮らしの方に対してもおこなうとごみ出しの助け合いなどに進むと思う。困った時に助け合う体制作りのためにも積極的に進めたい。

アベニュー高野山自治会 自治会に報告して、ぜひ進めたい。個人的にはあいさつを励行、あいさつは「あかるく」「いつも」「さきに」「すすめて」の頭文字。音階の「ミ」以上の高さだと伝わりやすい。

小暮町内会 我孫子高校の生徒のあいさつがとても良い

高野山自治会 高野山小、我孫子中のあいさつする年としない年があるが、これは学校の指導に差があるからか。学校では知らない人にあいさつをしてはダメと教えている可能性もあるので、調整が必要だと思う。

早稲田地区自治会 散歩中にあいさつすると、返す人と返さない人がいる。高校生は返事をするのが大変なくらいあいさつをしてくれる。近所の方とごみ出しの時にあいさつするのはよいアイデア、実施できたら気持ちが良いと思う。

ヒルズ我孫子ガーデニア自治会 マンションの住民間ではあいさつをしているが、周囲をどこまで広げるかが課題。あいさつは当たり前のこと、推進はメリハリをつけて。

推進委員 我孫子はあまりあいさつをする雰囲気を感じられない。「〇〇のまち」というキャッチフレーズがあると、住民が元気になり、地元を誇りに思える。

推進委員 だれにでもあいさつをしているが、返事はあったり、なかったり。子どもに限定せずに大人も取り組んで。

推進委員 スタッフとしてこもれびで声かけを実施、多くの方から反応をもらえる。

推進委員 防災・防犯面で効果が絶大。

推進委員 孫の送迎であいさつの習慣ができた。最初は億劫だったが、今では当たり前のことになった。犯罪減少に効果がある。

推進委員 高野山小学区で我孫子市の見守り隊に登録、名札を付けて登下校の見守りをしている。子ども達には名札をしていることで信頼して貰えている。中学生とは難しい？

推進委員長 ご意見は全部思い当たる。都市化、情報ツールの発達の影響でしょうか？

あいさつは全ての基本とご理解いただき、自治会内でぜひ推進していただきたい。

## 司会 まとめ

全会一致であいさつ運動を進めていきましょう。

あいさつ運動は、今年度に限っての運動ではなく継続できるようにしたい。

運動の展開方法、場所、時期などについては10月までに検討し、推進委員会議で提示する。

あいさつ運動の趣旨に賛同し、積極的に推進してくださる方を、複数でも構わないので、自治会から推進委員として推薦してほしい。

推進委員の登録用紙は、FAX でこもれび宛に提出のこと。(FAX 番号掲載ページ確認)

#### 4) その他の意見交換

小暮町内会 (質問) ポスターの掲示期間は？

返答) プレキャンペーン終了の10月末まで(子ども分科会座長)

同) ポスターの追加が必要な場合は、こもれびまで(事務局長)

市民活動支援課 (課長) あいさつ運動は天王台南地区独自のもの、広げていけると良いと思います。地域住民が中心の活動は、情報が行き渡って良い効果があります。あいさつ運動実施中の並木地区は犯罪率が下がっているので、この地区でもぜひ進めていただきたいと思います。あいさつ運動を市全体に広めてきたいと思っています。

#### (6) 閉会(副委員長)

本日、ご賛同いただいたあいさつ運動は、今後の展開を事務局で検討し提示させていただきます。そして推薦いただいた推進委員のみなさんと、このまちがあいさつの行きかう明るいまちになるように、犯罪防止につながるように、運動を推進していきたいと思えます。

地域会議は、本来自治会の皆さんに参加していただき、意見交換をしてテーマを決め、進めていくのが筋ですが、天王台南地区には39もの自治会があるので、課題もたくさんあってひとつにまとめることが困難です。天王台北地区は5自治会が毎月集まって地域会議を行っていますし、他の地区では、防災をテーマに選んだ地域会議をしています。新木地区では、東京防災を参考に冊子を作っています。天王台北地区は、防災フェスタを開催して地域に啓蒙しています。天王台南地区では、カラス被害防止サークル、防災出前講座、そしてこれから子どものあいさつ運動と、ひとつひとつ取り組んでいきます。あいさつは簡単にできることだけど難しいですね。皆さんが自治会のリーダーとしてあいさつ運動を進めていただくと、この地区が非常に良いまちになっていきますので、ご協力、ご支援をお願いします。

以上

記録：子ども分科会